



2019年11月6日

各 位

会 社 名 佐藤商事株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 音羽 正利  
 (コード番号 8065 東証第一部)  
 問合せ先 経理部長 城井 靖弘  
 (電話番号 03-5218-5312)

## 第2四半期累計期間の業績予想と実績値との差異および 通期業績予想の修正に関するお知らせ

2019年5月10日に公表いたしました2020年3月期第2四半期累計期間(2019年4月1日～2019年9月30日)の業績予想と実績値に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

また、2019年11月6日開催の取締役会において、2020年3月期の通期業績予想の修正につきまして、下記のとおり決議いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 業績予想と実績値の差異および通期業績予想の修正

##### (1) 2020年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値と実績値との差異 (2019年4月1日～2019年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 105,000	百万円 1,750	百万円 1,900	百万円 1,250	円 銭 58.25
実績値 (B)	103,417	1,627	1,844	1,213	56.54
増減額 (B-A)	△1,582	△122	△55	△36	
増減率 (%)	△1.5	△7.0	△2.9	△2.9	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2019年3月期第2四半期)	106,646	1,995	2,184	1,472	68.60

##### (2) 2020年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値と実績値との差異 (2019年4月1日～2019年9月30日)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 94,500	百万円 1,700	百万円 1,200	円 銭 55.92
実績値 (B)	92,116	1,568	1,052	49.03
増減額 (B-A)	△2,383	△131	△147	
増減率 (%)	△2.5	△7.7	△12.3	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2019年3月期第2四半期)	95,164	1,705	1,122	52.29

(3) 2020年3月期通期連結業績予想の修正  
(2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 218,000	百万円 4,150	百万円 4,500	百万円 3,250	円 銭 151.44
今回修正予想 (B)	210,000	3,400	3,850	2,700	125.80
増減額 (B-A)	△8,000	△750	△650	△550	
増減率 (%)	△3.7	△18.1	△14.4	△16.9	
(ご参考) 前期実績 (2019年3月期)	216,896	3,800	4,220	3,229	150.49

(4) 2020年3月期通期個別業績予想の修正  
(2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 196,000	百万円 3,800	百万円 2,750	円 銭 128.14
今回修正予想 (B)	187,000	3,100	2,150	100.17
増減額 (B-A)	△9,000	△700	△600	
増減率 (%)	△4.6	△18.4	△21.8	
(ご参考) 前期実績 (2019年3月期)	193,900	3,146	2,386	111.19

(5) 差異および業績予想の修正の理由

2020年3月期第2四半期累計期間における当社グループの連結および個別業績は、建産機業界向けの販売が低調であったことや地金相場の変動による価格影響等により、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益のいずれも前回公表した業績予想の数値を下回りました。

また、2020年3月期の通期の連結および個別業績予想の修正につきましては、第2四半期累計の実績を踏まえ、米中貿易摩擦の長期化による中国をはじめとしたアジア地域での販売の低迷や収益環境の悪化等が予想され、前回予想を下回る見込みとなりましたので、上記のとおり通期業績予想を修正いたします。

なお、期末配当予想につきましては、継続的な安定配当を基本として、連結配当性向25%以上を目標としており、本業績予想の修正に伴う前回予想からの変更はありません。

(注) 上記の予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上